



平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成31年2月7日

上場会社名 株式会社ホロン 上場取引所 東
 コード番号 7748 URL http://www.holon-ltd.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 張 皓
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 菅野 明郎 (TEL) 04-2945-2951
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	2,161	280.7	536	—	531	—	373	—
30年3月期第3四半期	567	15.3	△32	—	△29	—	△35	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
31年3月期第3四半期	111.69		—					
30年3月期第3四半期	△10.76		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	2,621	1,549	59.1
30年3月期	2,138	1,192	55.8

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 1,549百万円 30年3月期 1,192百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
31年3月期	—	0.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,702	105.4	679	459.4	678	487.7	476	278.9	142.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

31年3月期3Q	3,340,500株	30年3月期	3,340,500株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

31年3月期3Q	255株	30年3月期	78株
----------	------	--------	-----

③ 期中平均株式数（四半期累計）

31年3月期3Q	3,340,368株	30年3月期3Q	3,340,468株
----------	------------	----------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(追加情報)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善により回復基調となっておりますが、海外経済におきましては、米中貿易摩擦長期化の懸念をはじめ不透明な状況が続いております。

半導体業界におきましては、NAND型フラッシュメモリをはじめDRAMにつきましても需要の減速感があるものの、EUV露光機メーカーの装置出荷台数は増加しており、半導体製造会社大手の微細化への投資は依然旺盛であることがうかがえます。

このような状況のもと、当第3四半期累計期間におきましても、当社の主力製品であるマスクCD-SEM機「Zシリーズ」及び当社保有技術の核となる「電子顕微鏡カラム」を計画通り納入しております。また、受注につきましてもおむね堅調に推移しております。

この結果、売上高は2,161百万円（前年同四半期比280.7%増）となりました。損益につきましては、営業利益536百万円（前年同四半期は32百万円の営業損失）、経常利益531百万円（前年同四半期は29百万円の経常損失）及び四半期純利益373百万円（前年同四半期は35百万円の四半期純損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて35.7%増加し、2,179百万円となりました。これは、電子記録債権が62百万円減少した一方、現金及び預金が378百万円、仕掛品が177百万円それぞれ増加したことなどによります。

固定資産は、前事業年度末に比べて16.9%減少し、441百万円となりました。これは、投資その他の資産が47百万円減少したことなどによります。

この結果、資産合計は前事業年度末に比べて22.6%増加し、2,621百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて29.2%増加し、831百万円となりました。これは、短期借入金が45百万円減少した一方、支払手形及び買掛金が82百万円、電子記録債務が65百万円、未払法人税等が81百万円それぞれ増加したことなどによります。

固定負債は、前事業年度末に比べて20.1%減少し、240百万円となりました。これは、長期借入金が68百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は前事業年度末に比べて13.5%増加し、1,072百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べて29.9%増加し、1,549百万円となりました。これは、利益剰余金が356百万円増加したことなどによります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきまして、平成30年11月6日に発表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」の通りおむね進捗しているため、通期業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	336,141	714,178
受取手形及び売掛金	599,584	640,422
電子記録債権	158,220	96,012
仕掛品	420,073	597,849
原材料	64,436	91,190
その他	28,250	40,000
流動資産合計	1,606,707	2,179,653
固定資産		
有形固定資産	324,584	290,113
無形固定資産	68,370	60,800
投資その他の資産	138,619	91,003
固定資産合計	531,574	441,917
資産合計	2,138,281	2,621,570
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	248,400	330,990
電子記録債務	104,313	170,285
短期借入金	45,000	—
1年内返済予定の長期借入金	125,007	97,847
未払法人税等	17,121	98,765
賞与引当金	10,329	—
製品保証引当金	17,247	23,042
その他	76,323	110,581
流動負債合計	643,742	831,512
固定負債		
長期借入金	183,066	114,736
退職給付引当金	109,469	104,037
その他	9,055	22,208
固定負債合計	301,591	240,981
負債合計	945,333	1,072,493
純資産の部		
株主資本		
資本金	692,361	692,361
資本剰余金	163,754	163,754
利益剰余金	336,885	693,270
自己株式	△53	△309
株主資本合計	1,192,948	1,549,077
純資産合計	1,192,948	1,549,077
負債純資産合計	2,138,281	2,621,570

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	567,862	2,161,639
売上原価	323,834	1,133,603
売上総利益	244,027	1,028,035
販売費及び一般管理費	276,510	491,832
営業利益又は営業損失(△)	△32,482	536,203
営業外収益		
受取利息	44	37
為替差益	4,097	—
その他	67	277
営業外収益合計	4,208	314
営業外費用		
支払利息	1,535	965
為替差損	—	4,083
その他	1	—
営業外費用合計	1,536	5,049
経常利益又は経常損失(△)	△29,811	531,468
特別利益		
固定資産売却益	88	—
特別利益合計	88	—
特別損失		
固定資産除却損	—	0
補助金返還損	2,937	—
特別損失合計	2,937	0
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△32,660	531,468
法人税、住民税及び事業税	466	98,293
法人税等調整額	2,827	60,088
法人税等合計	3,293	158,381
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△35,954	373,086

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。